

2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東
コード番号 6046 URL https://linkbal.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉弘 和正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部 部長 (氏名) 松岡 大輔 TEL 050(1741)2300
定時株主総会開催予定日 2025年12月19日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年12月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	906	△6.4	△89	—	△83	—	△197	—
2024年9月期	968	—	△123	—	△123	—	△124	—

(注) 包括利益 2025年9月期 △197百万円 (—%) 2024年9月期 △124百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	△10.57	—	△21.8	△6.9	△9.8
2024年9月期	△6.65	—	△11.7	△8.9	△12.8

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 ー百万円 2024年9月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	1,120	810	72.3	43.23
2024年9月期	1,316	1,006	76.4	53.73

(参考) 自己資本 2025年9月期 810百万円 2024年9月期 1,006百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	△121	△33	△3	914
2024年9月期	△112	3	△3	1,072

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	971	7.2	2	—	2	—	1	—	0.09

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年9月期	19,500,000株	2024年9月期	19,500,000株
2025年9月期	758,506株	2024年9月期	773,430株
2025年9月期	18,737,528株	2024年9月期	18,721,341株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	838	△10.9	△80	—	△75	—	△189	—
2024年9月期	941	5.6	△128	—	△128	—	△128	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	△10.09	—
2024年9月期	△6.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	1,122	817	72.8	43.60
2024年9月期	1,308	1,004	76.7	53.62

(参考) 自己資本 2025年9月期 817百万円 2024年9月期 1,004百万円

2. 2026年9月期の個別業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	869	3.6	28	—	28	—	1.51

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(連結損益計算書に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

（当期の経営成績）

当連結会計年度における我が国経済は、円安による輸入コストの増加や、世界情勢の不安定化に起因する資源価格の高騰による物価上昇が続き、不確実性を増しており、依然として不透明な事業環境が続いております。このような経営環境の下、当社グループは、第3四半期に開始した新規イベントを第4四半期も継続して実施した結果、新規顧客の獲得および顧客満足度の向上に成功いたしました。また、販売費及び一般管理費の最適化により、持続的な利益体質の構築を実現いたしました。その結果、第4四半期に連結営業利益において黒字を実現し、2026年9月期の再成長に向けた基盤ができたものと考えております。また、「machicon JAPAN」の運営については、イベント企画から広告配信を一貫して行うことで、新たな顧客層の獲得および新たな事業モデルの構築に努めております。オンラインでの出会いを提供するマッチングアプリ「CoupLink」の運営については、カフェラウンジ「1on1 for Singles」とのサービス間の連携を強化することで利用者の増加および競合サービスとの差別化を図っております。また、引き続き、AI技術の活用による、なりすまし業者の排除等を行い、利用者に安心・安全な利用環境を構築してまいりました。1対1の出会いを提供するカフェラウンジ「1on1 for Singles」の運営においては、販売促進活動による新規利用者の増加を図るとともに、接客の改善による利用体験の向上、および来店時の利用時間の向上に努めました。あわせて、業務運用の効率化に伴う間接業務の削減、要員の適正配置推進による人件費の効率的運用等に取り組み、当社グループの売上原価、販売費及び一般管理費合計においては、2024年9月期実績1,092百万円に対し、2025年9月期実績995百万円と、96百万円の経費最適化を実現いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上高は906,312千円（前年同期比6.4%減）、売上原価、販売費及び一般管理費合計は995,346千円（前年同期比8.9%減）となりました。その結果、損益面では、営業損失は△89,033千円（前年同期は123,953千円の損失）、経常損失は△83,662千円（前年同期は123,640千円の損失）となりました。また、当連結会計年度において非連結子会社LINKBAL VIETNAM CO., LTD. の清算完了に伴う子会社清算益1,404千円を特別利益に計上したことと、有形固定資産に係る減損損失120,594千円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は197,968千円（前年同期は124,531千円の損失）となりました。

なお、当社グループはインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

（イベントECサイト運営サービス）

2025年9月末でリンクバルID会員数は283万人を突破し、当連結会計年度末におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は606,530千円（前年同期比11.2%減）となりました。

（WEBサイト運営サービス）

当連結会計年度末におけるWEBサイト運営サービスの売上高は299,782千円（前年同期比5.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ195,536千円減少し、1,120,857千円となりました。これは主に、売掛金が56,632千円増加した一方で、現金及び預金が158,243千円減少、有形固定資産が102,734千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,053千円増加し、310,618千円となりました。これは主に、未払消費税等が15,685千円減少、長期借入金が9,988千円減少した一方で、預り金が29,231千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ196,590千円減少し、810,239千円となりました。これは主に、自己株式が6,879千円増加した一方で、利益剰余金が197,968千円減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から158,243千円減少し、914,254千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動により減少した資金は121,542千円（前年同期は112,162千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失が202,054千円、売上債権の増加額が56,632千円、減損損失が120,594千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動により減少した資金は33,377千円（前年同期は3,840千円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が28,467千円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動により減少した資金は3,324千円（前年同期は3,601千円の支出）となりました。これは長期借入金の返済による支出が3,324千円となったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
自己資本比率	—	—	76.4%	72.3%
時価ベースの自己資本比率	—	—	217.7%	219.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 該当する算出数値が無い場合には「—」を記載しております。ただし、2024年9月期及び2025年9月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

2. 2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期以前の数値は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループが今後の業容を拡大し、より良いサービスを継続的に展開していくためには、経営者が常に外部環境の構造や変化を把握・分析し、現在および将来の事業環境を確認した上で経営課題を認識し、最適な解決策を実施していくことが重要であると認識しております。今後は、業界内でのシェア獲得競争が一層激化することが予想される中、成長投資の集中と選択を行い、成長ドライバーへの積極的な投資を通じて、2026年9月期を「黒字化を達成し、さらなる成長への転換期」と位置づけ、再成長を実現してまいります。成長ドライバーとしては、「machicon JAPAN」を軸とした既存事業の拡大、成長領域であるAI事業の拡大によるグループ全体の成長を柱とし、マーケットシェアの拡大を目指してまいります。「machicon JAPAN」においては、成功した新規企画イベントの拡大・継続を軸に、イベント運営事業者との連携強化や他業界企業との協業を通じて潜在顧客へのリーチを拡大し、マーケット内での優位性を強化いたします。これにより、既存事業の収益性向上と利用者基盤のさらなる拡大を図ります。「CoupLink」および「lon1 for Singles」においても、「machicon JAPAN」との連携を強化し、AI技術を活用することで利用者数の増加を推進してまいります。さらに、子会社MiDATAを中心としたAI事業の成長を重点施策として推進いたします。AI事業への積極投資により技術力と組織力の強化を実現し、既存サービスへの技術活用を一層進めることでサービス価値を向上させ、中長期的な成長ポテンシャルを高めてまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2021年9月期以降、営業損失、経常損失および当期純損失を連続して計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。しかしながら、2025年9月期第4四半期において、連結営業利益で黒字を達成いたしました。これにより、事業運営の改善が着実に進んでいるものと認識しております。

また、財務面におきましては、当連結会計年度末において、914,254千円の現金及び預金を保有しており、当連結会計年度末から翌12ヶ月間の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社グループの資金繰りに重要な懸念はありません。

以上により、当社グループにおいては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を採用しております。今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,072,498	914,254
売掛金	81,919	138,552
前渡金	-	800
前払費用	20,433	20,795
未収還付法人税等	-	514
その他	1,118	3,334
貸倒引当金	△623	△649
流動資産合計	1,175,347	1,077,603
固定資産		
有形固定資産		
建物	113,213	26,151
減価償却累計額	△16,427	△26,151
建物（純額）	96,786	0
工具、器具及び備品	20,075	16,776
減価償却累計額	△13,698	△16,347
工具、器具及び備品（純額）	6,377	429
有形固定資産合計	103,163	429
投資その他の資産		
差入保証金	2,200	2,200
敷金	33,965	39,002
長期前払費用	1,717	1,622
破産更生債権等	957	1,386
関係会社長期貸付金	1,185	-
貸倒引当金	△2,142	△1,386
投資その他の資産合計	37,883	42,824
固定資産合計	141,046	43,254
資産合計	1,316,394	1,120,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,503	3,030
1年内返済予定の長期借入金	3,324	9,988
未払金	68,675	68,952
未払費用	12,639	14,516
未払法人税等	1,627	970
未払消費税等	22,917	7,232
前受金	18,874	16,362
預り金	11,569	40,800
賞与引当金	16,321	12,350
その他	5	30
流動負債合計	160,457	174,233
固定負債		
長期借入金	109,197	99,209
資産除去債務	18,925	21,652
繰延税金負債	5,184	23
長期預り保証金	15,800	15,500
固定負債合計	149,107	136,384
負債合計	309,564	310,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金		
資本準備金	276,000	276,000
その他資本剰余金	223,630	218,750
資本剰余金合計	499,630	494,750
利益剰余金		
繰越利益剰余金	813,761	615,792
利益剰余金合計	813,761	615,792
自己株式	△357,186	△350,306
株主資本合計	1,006,205	810,236
新株予約権	624	3
純資産合計	1,006,829	810,239
負債純資産合計	1,316,394	1,120,857

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	968,171	906,312
売上原価	201,184	217,660
売上総利益又は売上総損失(△)	766,987	688,652
販売費及び一般管理費	890,940	777,686
営業利益又は営業損失(△)	△123,953	△89,033
営業外収益		
受取利息	177	1,530
貸倒引当金戻入額	-	1,185
助成金収入	-	3,300
受取補償金	712	-
その他	65	191
営業外収益合計	956	6,206
営業外費用		
支払利息	393	810
その他	250	24
営業外費用合計	643	835
経常利益又は経常損失(△)	△123,640	△83,662
特別利益		
新株予約権戻入益	57	798
子会社清算益	-	1,404
特別利益合計	57	2,202
特別損失		
減損損失	-	※ 120,594
特別損失合計	-	120,594
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△123,583	△202,054
法人税、住民税及び事業税	1,647	1,076
法人税等調整額	△699	△5,161
法人税等合計	947	△4,085
当期純利益又は当期純損失(△)	△124,531	△197,968
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△124,531	△197,968

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益又は当期純損失（△）	△124,531	△197,968
包括利益	△124,531	△197,968
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△124,531	△197,968

(売上原価明細)

		前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)		当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
イベント開催費用		114,152	56.7	106,786	49.1
WEBサイト運営サービス関連費用		87,032	43.3	110,873	50.9
合計		201,184	100.0	217,660	100.0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	50,000	503,286	938,292	△362,842	1,128,736	238	1,128,975
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）			△124,531		△124,531		△124,531
譲渡制限付株式報酬		△3,655		5,655	1,999		1,999
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						385	385
当期変動額合計	-	△3,655	△124,531	5,655	△122,531	385	△122,145
当期末残高	50,000	499,630	813,761	△357,186	1,006,205	624	1,006,829

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	50,000	499,630	813,761	△357,186	1,006,205	624	1,006,829
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）			△197,968		△197,968		△197,968
譲渡制限付株式報酬		△4,880		6,879	1,999		1,999
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△621	△621
当期変動額合計	-	△4,880	△197,968	6,879	△195,968	△621	△196,590
当期末残高	50,000	494,750	615,792	△350,306	810,236	3	810,239

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△123,583	△202,054
減価償却費	17,187	13,226
減損損失	-	120,594
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,213	△730
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△604	△3,971
受取利息及び受取配当金	△177	△1,530
支払利息	393	810
助成金収入	-	△3,300
子会社清算損益 (△は益)	-	△1,404
新株予約権戻入益	△57	△798
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,101	△56,632
未収入金の増減額 (△は増加)	62,911	-
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,362	△1,472
未払金の増減額 (△は減少)	△35,585	277
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,917	△15,685
前受金の増減額 (△は減少)	1,200	△2,512
預り金の増減額 (△は減少)	△7,626	29,231
その他	△5,748	2,613
小計	△111,298	△123,337
利息及び配当金の受取額	177	1,530
利息の支払額	△394	△810
助成金の受取額	-	3,300
法人税等の支払額	△646	△2,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	△112,162	△121,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,474	△28,467
有形固定資産の売却による収入	-	127
敷金の差入による支出	-	△5,037
関係会社貸付金の回収による収入	6,314	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,840	△33,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	-
短期借入金の返済による支出	△100,000	-
長期借入金の返済による支出	△3,601	△3,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,601	△3,324
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,922	△158,243
現金及び現金同等物の期首残高	1,154,420	1,072,498
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30,000	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,072,498	914,254

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(連結損益計算書に関する注記)

※ 減損損失

前連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はございません。

当連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 資産のグルーピング方法

資産の使用状況およびキャッシュ・フローの帰属実態を踏まえ、当社グループ全体を一つの資産グループとして減損の判定を行っております。

(2) 減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類
本社（東京都中央区） 店舗（東京都新宿区） 店舗（東京都渋谷区） 店舗（東京都台東区）	全社資産	建物附属設備 工具器具備品

(3) 減損損失の認識に至った経緯

将来キャッシュ・フローの見直しにより、割引前将来キャッシュ・フローが帳簿価額を下回ることが見込まれたため、全社資産について減損損失を計上しております。

(4) 主な固定資産の種類ごとの減損損失の金額

(単位：千円)

種類	金額
建物附属設備	110,744
工具器具備品	9,849

(5) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は使用価値により算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	53.73円	43.23円
1株当たり当期純損失(△)	△6.65円	△10.57円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在しておりますが、1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	1,006,829	810,239
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	624	3
(うち新株予約権(千円))	(624)	(3)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,006,205	810,236
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	18,726,570	18,741,494

3. 1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△124,531	△197,968
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△124,531	△197,968
期中平均株式数(株)	18,721,341	18,737,528
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年2月13日開催の取締役会決議による新株予約権 新株予約権の発行 ①第3回 新株予約権 新株予約権の数 30個 2023年3月15日開催の取締役会決議による新株予約権 ②第7回 新株予約権 新株予約権の数 108個	2018年2月13日開催の取締役会決議による新株予約権 新株予約権の発行 ①第3回 新株予約権 新株予約権の数 30個

(重要な後発事象)

該当事項はありません。